国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

「世界の北海道」を目指して
―北海道総合開発計画―

令和元年　７月　１８日

岩内港で初の大規模地震・津波防災訓練を実施！

北海道開発局及び岩内町（港湾管理者）は、特定地域振興重要港湾※である岩内港において、関係機関・団体の参加による、「令和元年度 岩内港 大規模地震・津波総合防災訓練」を実施します。
今回の訓練は、北海道開発局、岩内町及び関係機関・団体の相互協力体制を確立するとともに、防災の重要性を再認識し、岩内港を中心とする地域防災力の強化を図ることを目的としております。

当日は、北陸地方整備局が所有する大型浚渫兼油回収船「白山（はくさん）」による、海上での油回収訓練や緊急支援物資輸送訓練などを行います。
午後には、「白山」船内の一般公開も行いますので、是非お越しください。

G20 2019 JAPAN

記

１　日　　時　　令和元年７月２７日（土）１０時００分～１１時３０分　：　総合防災訓練
１３時００分～１５時００分　：　「白山」船内一般公開

２　場　　所　　岩内港　新港東埠頭岸壁（－７．５ｍ）（別紙１を参照）

３　訓練項目　　①避難訓練、②緊急支援物資輸送訓練、③被災状況調査訓練、④漂流者捜索・救助訓練
⑤広域海上点検訓練、⑥油拡散訓練、⑦油回収訓練

４　取材申込　　取材を希望される場合は、あらかじめ７月２５日（木）１５時までに、以下の取材申込先担当者へご連絡願います。

５　その他

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

（１）　訓練は一般の方も見学できます。
（２）　訓練プログラムについては、別紙２を御参照ください。
（３）　当日は、気象状況によって訓練内容の一部変更又は中止する場合があります。
（４）　「白山」船内の一般公開については、別紙３を御参照ください。

※「特定地域振興重要港湾」
平成１２年５月に国土交通省港湾局は、地域の振興に重要な役割を果たすことが期待される地方の港湾として全国で１３港を選定しました。北海道では唯一、岩内港が選定されています。

【問合せ先】国土交通省　北海道開発局　小樽開発建設部
広報官　田中　邦彦（0134-23-9910）
小樽港湾事務所保全課長　廣部　俊夫（0134-23-5214）
小樽開発建設部ホームページ　https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/

会場案内図

会　場　詳　細　図

別紙１

別紙2

令和元年度
岩内港　大規模地震･津波総合防災訓練

プログラム

日時

令和元年7月27日（土）　10:00～11:30

場所

岩内港　新港東埠頭岸壁（-7.5m）

令和元年度　岩内港　大規模地震･津波総合防災訓練

スケジュール

●訓練内容につきましては、当日の悪天候等により変更する場合があります。

訓練項目	実働機関
10:00　開会式	
10:22　①避難訓練	・北海道札幌方面岩内警察署 ・小樽建設協会 ・小樽港湾事務所工事安全連絡協議会
10:28　②緊急支援物資輸送訓練	・岩内町（港湾管理者） ・陸上自衛隊北部方面隊第１１旅団 ・日本埋立浚渫協会 ・日本海上起重技術協会 ・全国浚渫業協会 ・北海道港湾空港建設協会 ・日本潜水協会 ・北陸地方整備局 ・小樽開発建設部
10:39　③被災状況調査訓練	・海洋調査協会 ・港湾技術コンサルタンツ協会 ・北海道ポートエンジニアリング協会 ・北海度開発局港湾･空港･漁港防災エキスパート ・小樽開発建設部
10:49　④漂流者捜索･救助訓練	・小樽海上保安部 ・岩内・寿都地方消防組合
11:00　⑤広域海上点検訓練	・第一管区海上保安本部
11:05　⑥油拡散訓練	・小樽海上保安部
11:13　⑦油回収訓練	・北陸地方整備局
11:25　閉会式	

主催者

国土交通省北海道開発局、小樽開発建設部、岩内町（港湾管理者）

参加機関・団体

第一管区海上保安本部、小樽海上保安部、陸上自衛隊北部方面隊第１１旅団、北海道札幌方面岩内警察署、岩内･寿都地方消防組合、一般社団法人　日本埋立浚渫協会 北海道支部、一般社団法人　日本海上起重技術協会、全国浚渫業協会　北海道支部、北海道港湾空港建設協会、一般社団法人　日本潜水協会、一般社団法人　海洋調査協会、一般社団法人　港湾技術コンサルタンツ協会、北海道ポートエンジニアリング協会、北海道開発局港湾･空港･漁港防災エキスパート、小樽建設協会、小樽港湾事務所工事安全連絡協議会、北陸地方整備局

令和元年度　岩内港 大規模地震・津波総合防災訓練

訓練概要

目　的

本訓練は、北海道南西沖を震源とする大規模地震及びこれに伴う津波の襲来による災害によって、港湾施設に被害が発生した場合の港湾機能の早期回復等に備え、関係機関との連携強化ならびに防災意識の向上を目的とした実動訓練を実施するものです。

訓練想定

- 令和元年7月27(土)午前10時頃に、北海道南西沖を震源とするマグニチュード7.8の地震が発生し、岩内町で震度5強の強い揺れが発生。
- 地震発生直後に大津波警報が発表され、最大4.7mの津波が襲来。その後、津波注意報に切り替わり、津波注意報が解除。

1 避難訓練

●みなとのに近くにいる市民や就労者などの方々は、津波の襲来に備えて、日頃から避難場所や避難経路を確認しておく必要があります。

●港湾管理者(岩内町)から、避難の情報伝達があったことを想定し、岸壁で工事を行っている作業員が津波避難施設まで避難します。

2 緊急支援物資輸送訓練

●大規模災害時において、孤立した被災者に対し食料・生活用品等の支援物資を速やかに避難所や被災地へ輸送する必要があります。

●緊急支援物資を必要とする被災地域が発生したことを想定し、被害の無かった岸壁を使用して、船舶で運んできた緊急支援物資を関係機関が連携してトラックで輸送します。

3 被災状況調査訓練

●岸壁では、船舶の係留や荷物の積み卸しが可能なのかを確認するとともに、被災状況を踏まえ、応急措置や応急復旧対策等の検討が必要になります。

●目視点検で岸壁の被災が確認されたことを想定し、北海道開発局の要請に基づき関係団体が被災状況の調査を行います。

4 漂流者捜索･救助訓練

●津波が襲来すると、多くの人々が被災し海を漂流することが想定されることから、人命救助のため、生存者の捜索や救助活動が重要となります。

●津波により被災を受けた漂流者をボートで捜索し、関係機関が連携して、救助を行います。

5 広域海上点検訓練

●津波が襲来すると、港湾施設に様々な被害をもたらし、港湾活動に支障を来すことから、早期に災害規模を把握することが必要となります。

●津波による災害規模を把握するため、港湾施設の被害や油流出の状況把握のため、ヘリコプターによる上空からの調査を行います。

6 油拡散訓練

●大規模災害時において、港内に浮遊した揮発性の高い油は、油回収した後にも取り切れず水面に残ってしまいます。このため、この油を放水や船の航走によって撹拌し揮発させる必要があります。

●港内の海面上に油が浮遊している状況を想定し、巡視船により海面放水拡散及び搭載艇による航走拡散処理を行います。

7 油回収訓練

●大規模災害時において、大量の油が流出した場合、海洋汚染の拡大防止のため、油防除の取組を進めることが必要になります。

●大量に油が流出したことを想定して、北陸地方整備局所管の大型浚渫兼油回収船「白山」により油の回収を行います。

※速やかに訓練を実施するため、実際の災害対応とは順番が違います。

別紙3

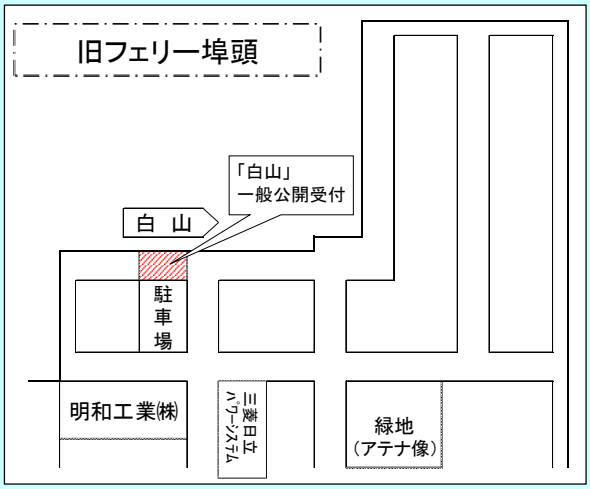
大型浚渫　兼　油回収船
「白山（はくさん）」　船内一般公開

- 「白山」は、港の機能を守るための浚渫を行うほか、平成9年のナホトカ号油流出事故のような大型タンカーなどから流出した大量の油などを海上で回収する機能などを有しており、国土交通省が所有する3船のうち北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所に所属している船舶です。
- 「白山」は平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震において、被災地支援のため、苫小牧港東港区にて緊急支援物資輸送や入浴・洗濯・給水・給油支援を行いました。

公開日時

◎ 令和元年　7月27日（土）

◎ 公開時間　13時00分～15時00分
（受付開始12時50分　最終受付14時30分）

◎ 会場　岩内港　新港東埠頭岸壁（－7．5m）

- 荒天により、やむをえず公開を中止する場合があります。
- 岩内港新港東埠頭岸壁（-7.5m）の一般公開受付までお越しください。
- 船内は段差が多いため、サンダルやかかとの高い靴などでの乗船はご遠慮ください。